



ふるさと食品コンクール

地域の農水産品の利用増進などに役立つ食品を表彰する「優良ふるさと食品中央コンクール」(食品産業センター主催)の国産畜水産品利用部門で、唐津市海岸通の水産加工業・吉村商店(吉村司社長)の「アジアン餃子」が、最高賞の農林水産大臣賞を受賞した。餡に唐津産のアジや県産野菜を、皮には嬉野茶を使った新商品。豚肉などイスラム教で摂取が禁止されている食材を含まないことを証明する「ハラール認証」も取得し、吉村社長は「唐津、佐賀を海外にもアピールしたい」と語る。

アジアン餃子 農水大臣賞

吉村商店(唐津市) 地場産アジや野菜活用

餃子は、唐津産アジのほか県産のシャンボンニク、タマネギなどを餡に使う。うま味を残して魚臭さを抑えるため、アジは水揚げされたその日中に加工し、冷凍。女性に人気が出るよう魚のコラーゲンも添加した。皮には嬉野茶を練り込み、揚げばパリっとした食感と香ばしさが、ゆでればモチモチとした歯ごたえが楽しめる。

ヘルシーで見た目にもインパクトのある加工品で魚離れを食い止めようと2年前から開発。アジやサバ、サワラなど7種の魚で食べ比べするなど試行錯誤を重ね今年1月、商品化した。台湾、シンガポールで開いたバイヤーや消費者向けの試食会では好評で、教社から取引の打診もあるという。ハラール認証を取得したことで、シンガポールやインドネシアなどイスラム教徒の多い国にも販路を広げたいと考えた。

12個入りで630円。吉村商店と、日曜限定で同市久里の唐津つまかもん市場で販売している。問い合わせは同店、電話0955(74)3526へ。

(村田駿介)

優良ふるさと食品中央コンクールで、農林水産大臣賞に選ばれた吉村商店の「アジアン餃子」

伊万里焼で作られた開運の招き猫のハローキティ=吉野ヶ里町のオフィス・タカハシ



伊万里焼招き猫キティ

招き猫の着ぐるみをかぶったサンリオの人気キャラクター「Hello Kitty (ハローキティ)」の伊万里焼人形が28日から販売される。既にインターネットなどで予約が始まっており、手のひらに載るサイズでかわいいと評判だ。

商品企画・販売業などを手掛けるオフィス・タカハシ(吉野ヶ里町、高橋勝則社長)が販売。商品名は「Hello Kitty伊万里焼手乗りまねき猫」。佐賀市の企画会社アイ

オフィス・タカハシ(吉野ヶ里町)ンバンド(井上勝信社長)がデザインを考案し、伊万里市の瀬兵衛が製造した。著作権を持つサンリオ(東京)とやりとりしながら試行錯誤を重ね完成した。

高橋社長は「縁起物だし、世界中で愛されているハローキティのキャラクターを通じて、伊万里焼の素晴らしさを知ってもらえたら」と話す。1体4095円。28日から佐賀空港、佐賀デイトス内の「佐賀工房」で扱う。予約、問い合わせはオフィス・タカハシ、電話0952(53)8234へ。

イオン上峰

きょう新装オープン

シニア世代向けを強化

イオン九州は20日、三養基郡上峰町のイオン上峰ショッピングセンター(SC)をリニューアルオープンする。直営店や専門店などシニア世代向け上げは前年比11.5%を

幅広い世代が楽しめる店舗構成にする。専門店は従来の30店から、九州、県内初出店2店を含む9の店つくりを核にリニューアルした。1〜3階に分散していた売り場を1

同店は1995年開設。今回は高齢化社会を意図し、シニア世代向けの店つくりを核にリニューアルした。1〜3階に分散していた売り場を1

動物キャラで愛らしく

パンダ純米

「呑猿」企画、矢



日本酒「パンダ祭り」純米吟醸「生」が発売された。醸造元の矢野酒造(鹿島市)の主要銘柄「竹の園」にちなみ、竹が好物とされるパンダがラベルにあしらわれた新商品。愛らしいデザインで注目を集めている。

佐賀の酒を応援する市民有志のグループ「呑猿」が企画。

アミューズメントや100円均一店などで構成、買い物しやすいとした。専門店には飲食店や書店のほか介護、保険などの店舗も出店。卸売業者を通じて、地元農産物を直接顧客の元へ届ける九州初の農産物直売専門店「わくわく広場」(本社、千葉市)を誘致し、新